

2016年3月期 第1四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役社長 グループCEO

2015年7月31日



東証第1部 : 6754
<http://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 2016年3月期第1四半期 業績概要

I - 1. 事業概要

I - 2. 連結決算概要

I - 3. 2016年3月期 通期業績予想（連結）

II. その他

II - 1~5. 計測事業の成長ドライバーと事業機会

II - 6. 産業機械事業セグメント名称変更

I - 1. 事業概要

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2015年3月期 実績 (連結) : 988億円



T&M 74%			PQA 16%	その他 10%
モバイル 50%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 20%		

(計測事業 地域別売上比率)

日本 15%	アジア、パシフィック 35%	米州 30%	EMEA 20%
-----------	-------------------	-----------	-------------

PQA : Products Quality Assurance (従来のセグメント名称 産業機械事業)

I - 2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

セグメント	2016年3月期第1四半期（4月-6月）の状況
 T&M：キャリアアグリゲーション開発需要は継続	
モバイル	LTE-Advanced関連堅調
NW	光デジタル関連への設備投資堅調
エレクトロニクス	モジュール開発・業務用無線で回復の兆し
アジア	モバイル開発、光デジタル関連等は堅調だがモバイル製造設備の更改需要は鈍化
米州	LTEネットワークの建設投資に一巡感
 PQA：設備更改需要を新製品がとらえ増収増益	

NW: ネットワーク・インフラ

PQA: Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 業績サマリー -

 前年同期比で増収増益を確保

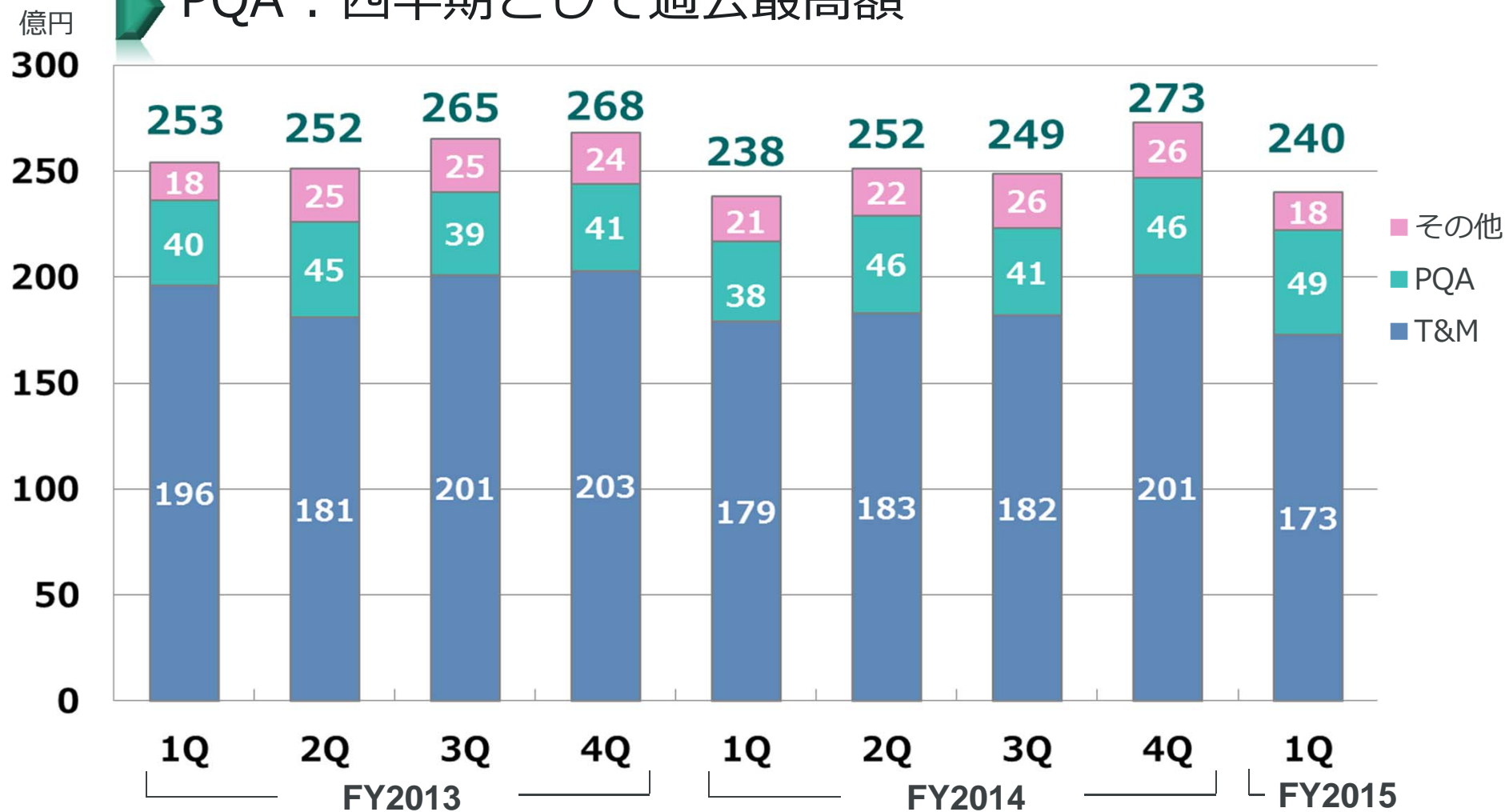
(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	238	240	2	1%
売上高	222	236	14	7%
営業利益	14	15	1	8%
税引前利益	14	17	3	24%
当期利益	8	11	3	41%
当期包括利益	7	25	18	260%
フリーキャッシュフロー	26	14	△ 12	△ 47%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

- T&M：北米のネットワーク建設投資が抑制傾向
- PQA：四半期として過去最高額



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

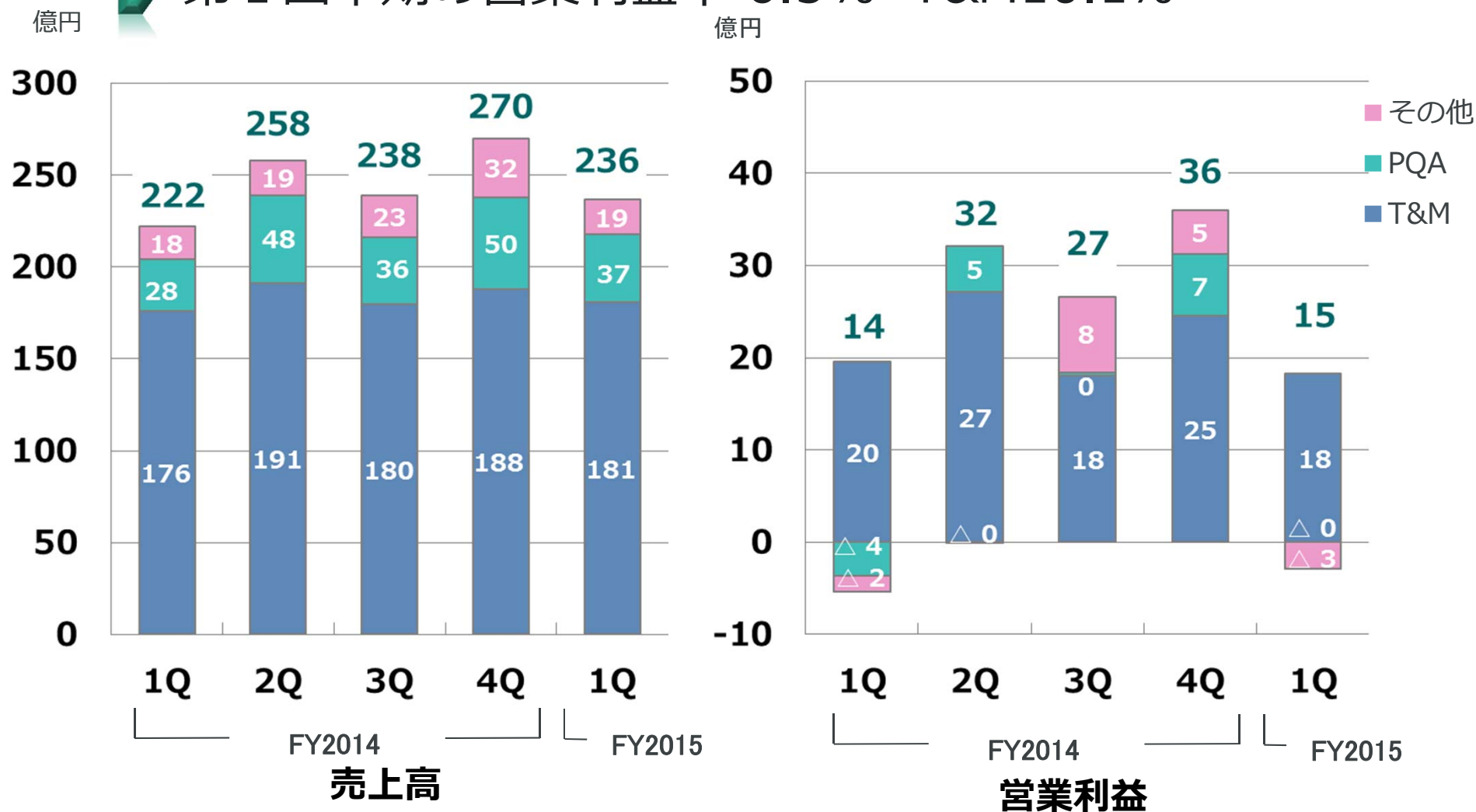
国際会計基準(IFRS)		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	176	181	5	3%
	営業利益	20	18	△2	△7%
PQA	売上高	28	37	9	30%
	営業利益	△4	△0	4	-
その他 (含：内部消去)	売上高	18	19	1	7%
	営業利益	△2	△3	△1	-
合計	売上高	222	236	14	7%
	営業利益	14	15	1	8%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

PQA : Products Quality Assurance

I - 2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

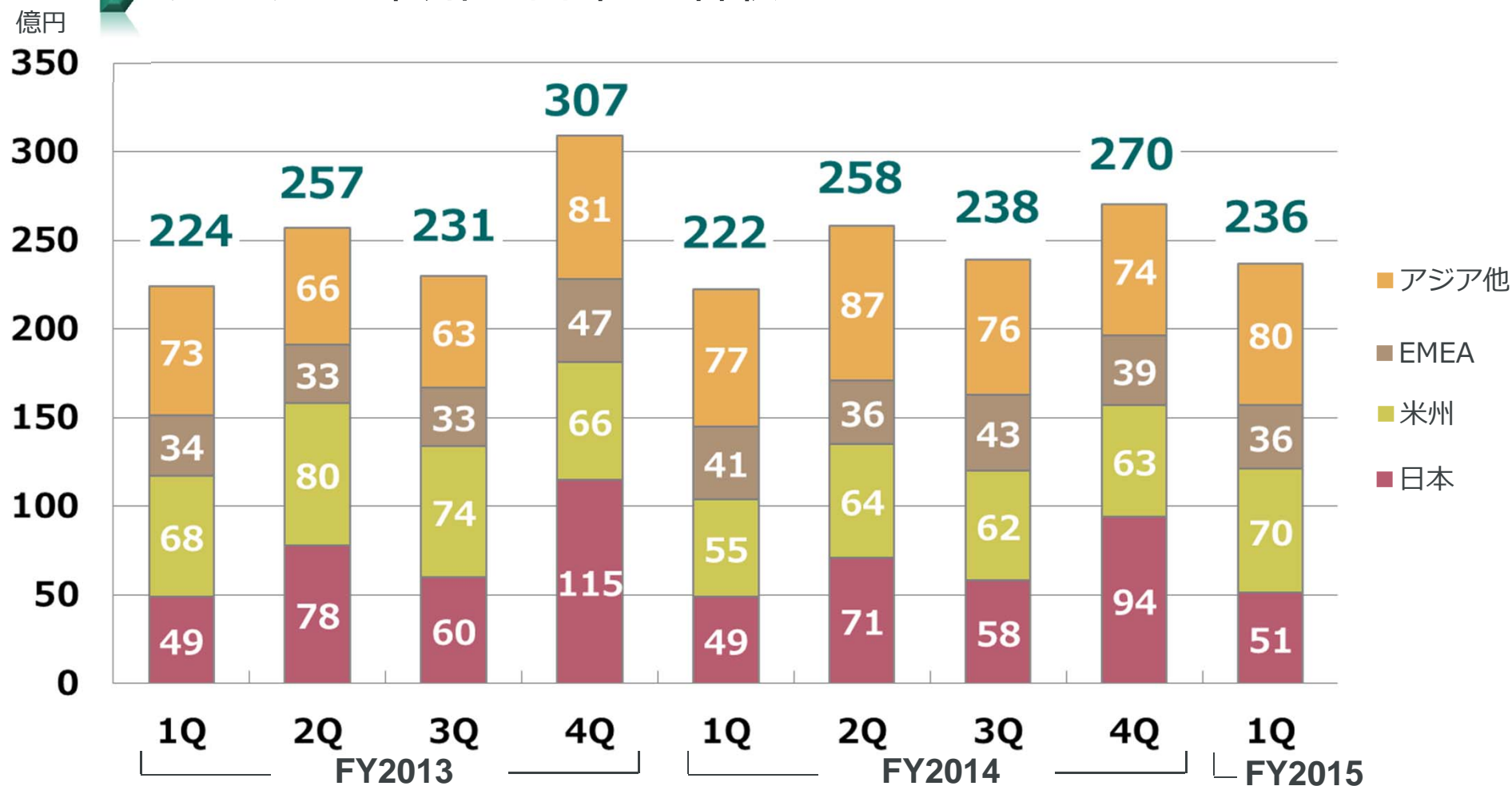
▶ 第1四半期の営業利益率 6.5% T&M10.1%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



I - 2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

▶ アジア・米州・日本が増収



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I - 2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

 営業CFマージン率28%
 社債80億円発行

FY2015 Q1

- ①営業CF： 66億円
- ②投資CF： △ 53億円
- ③財務CF： 63億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 14億円

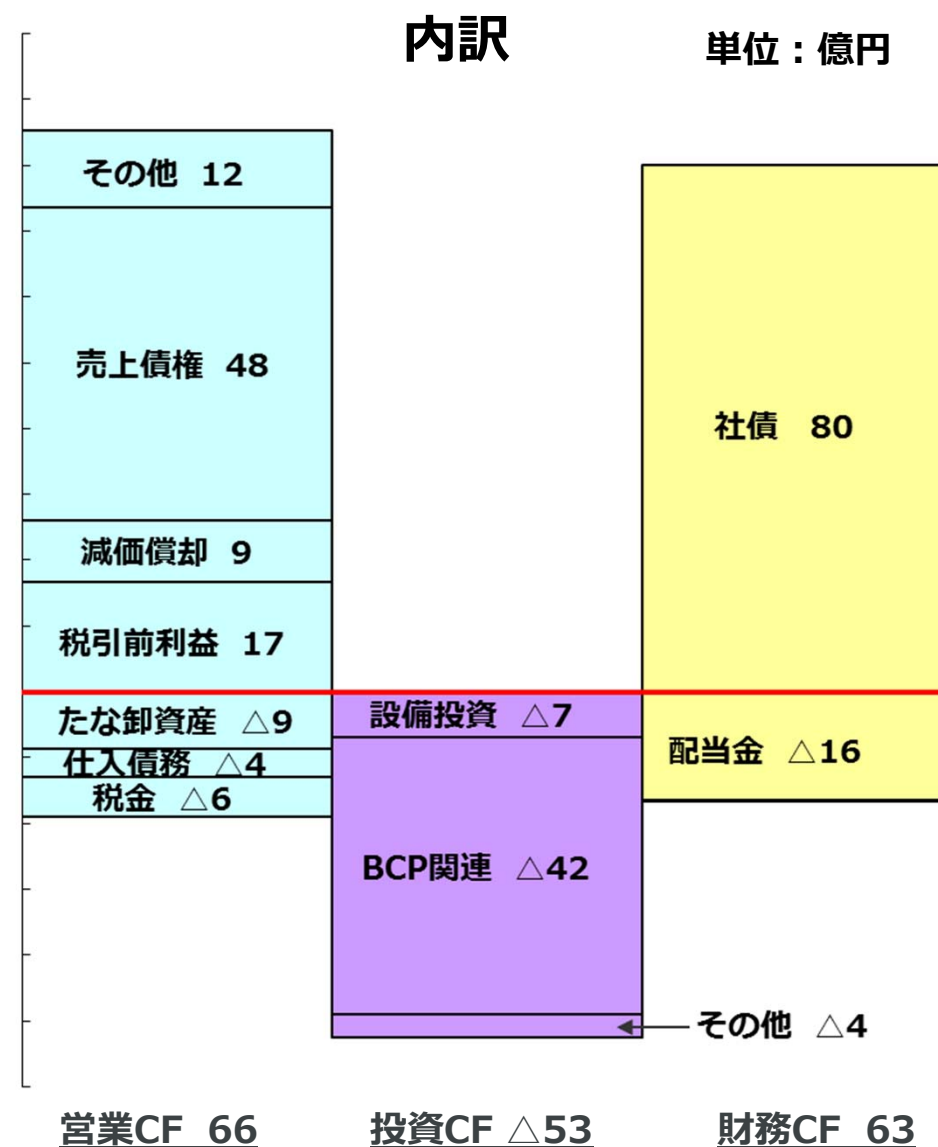
現金同等物期末残高

433億円

有利子負債高

240億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



I - 3. 2016年3月期 通期業績予想 (連結)

▶ 4月開示より変更なし

国際会計基準(IFRS)		2015/3期	2016/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		988	1,030	42	4%
営業利益		109	110	1	1%
税引前利益		116	109	△ 7	△ 6%
当期利益		79	80	1	2%
T&M	売上高	734	750	16	2%
	営業利益	89	90	1	1%
PQA	売上高	162	180	18	11%
	営業利益	8	11	3	33%
その他 (含：内部消去)	売上高	92	100	8	9%
	営業利益	11	9	△ 2	△ 19%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート：1米ドル115円、1ユーロ=130円

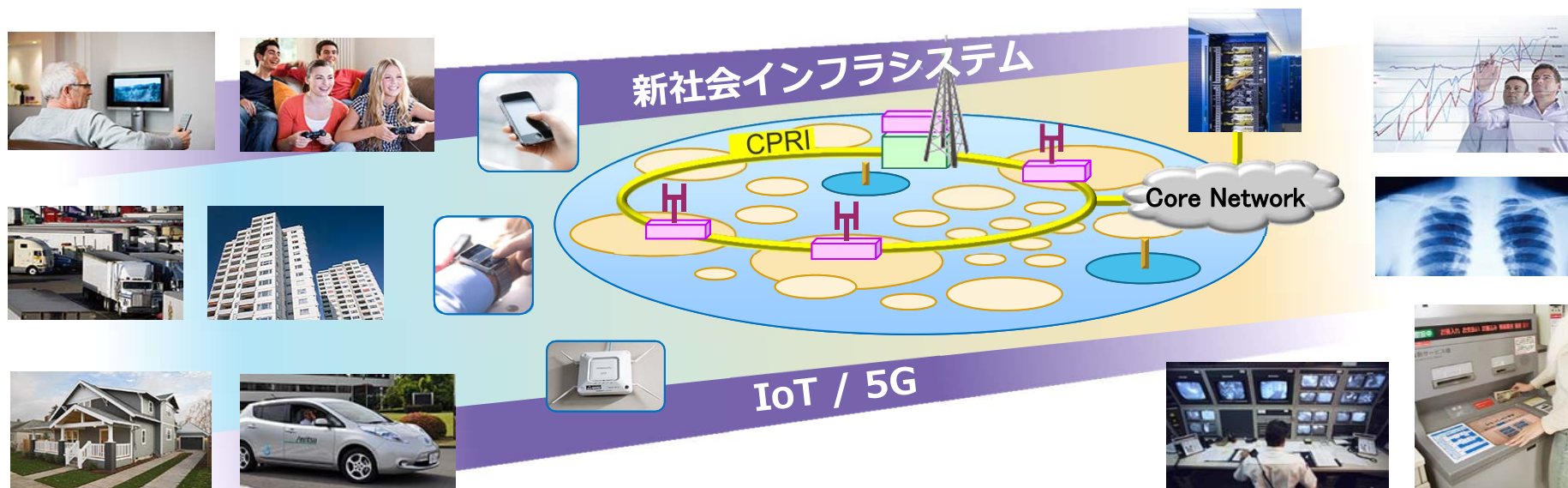
Ⅱ．その他

Ⅱ - 1~5. 計測事業の成長ドライバーと事業機会

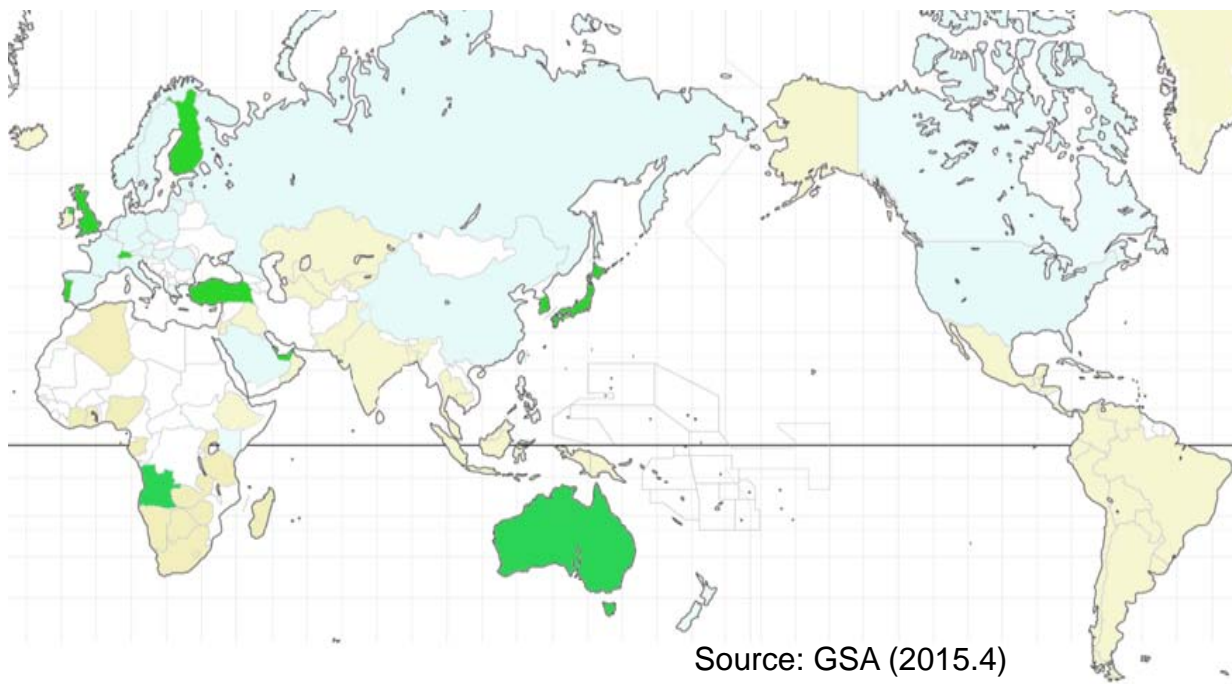
Ⅱ - 6. 産業機械事業セグメント名称変更

Ⅱ - 1. 計測事業の成長ドライバーと事業機会

GLP2017 成長ドライバー	事業機会	スライド
LTE-Advanced 5G	3～5 GHz帯の利用が始まる 3CA(450Mbps)のサービス開始 5Gは標準化活動がスタート	15 16
新しい基地局 ネットワーク	スモールセル化への投資が始まる	17 18







II - 2 . CA評価用の測定需要が今年度大きく立ち上がる見込み 3CA ~450Mbps サービスの商用化



- 3CA ~450Mbps
13 systems are in deployment, trial, or test phase in 11 countries.
- 2CA ~300Mbps
64 Commercially launched systems in 39 countries.
- ~150Mbps
Countries with commercial LTE service

II - 3. アンリツはLTE-Advanced対応ソリューションで先駆的役割を果たす

3CA (FDD & TDD) 開発評価需要の拡大に向け新製品を継続投入。

	プラットフォーム コア開発	RF認証試験	プロトコル認証試験 キャリア受入試験
お客様	チップセットベンダー 端末ベンダー	チップセットベンダー ・ 端末ベンダー オペレーター	
新しい ソリュー ション	 <p>1台で4CAに対応(業界で唯一) MT8821C</p>	 <p>グローバル シェアNo1 ME7873 シリーズ</p>	 <p>グローバル オペレータの 認証試験で採用 ME7834 シリーズ</p>
	 <p>業界初3CA(450Mbps)の データ通信に成功 MD8430A</p>		

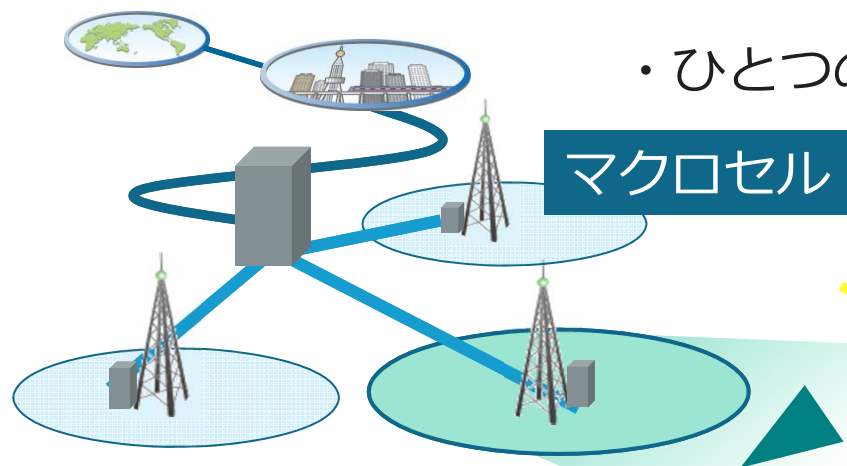
Ⅱ - 4. 新しい基地局ネットワークの構築開始

3~5GHz帯 スモールセルネットワークの建設開始

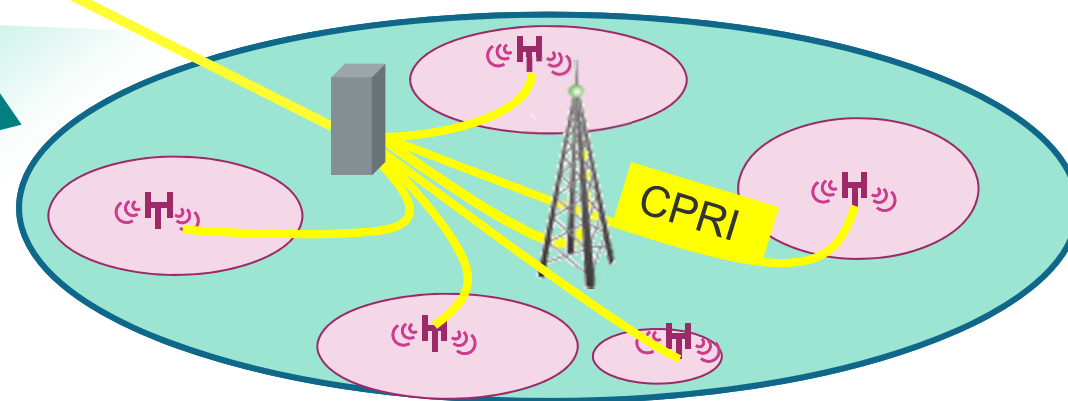
モバイルトラフィックの増加⇒多数のスモールセルを敷設

- ・メタルケーブルから光ファイバー化
- ・ひとつのベースバンド部に多数のアンテナ

現行のLTE



現行セル + スモールセル



IOT/5Gに向けて さらに進化へ

Ⅱ - 5.有線から無線の様々なフェーズで増大する 測定需要の獲得を狙う

<p>対象</p>	<p>コアネットワーク～モバイルフロントホール</p> 	 <p>基地局無線部</p>	
<p>お客様</p>	<p>オペレーター 工事業者</p>		
<p>新しいソリューション</p>	 <p>SkyBridge Tools 建設作業効率化クラウド</p>		
	 <p>ネットワークマスター ネットワーク・装置 の評価</p>	 <p>アクセスマスター 光ファイバーの評価</p>	 <p>BTSマスター 無線信号の評価</p> <p>エリアテスター 通信範囲の評価</p>

Ⅱ - 6. 『産業機械』 事業セグメント名称を PQA(Products Quality Assurance)事業に変更

安全・安心、健康なくらしに貢献する

対象分野



農産物・水産物



加工食品



医薬品



化粧品

品質保証 ソリューション (QA)



自動電子計量機



X線異物検出機



金属検出機



オートチェッカ

総合品質管理・制御システム (QuiCCA)

事業部門

Anritsu Industrial Solutions から

Anritsu Infivis へ

(社名変更：2015年10月1日より)



Anritsu
envision : ensure

